

《湯浅町》120年の歩み



近代湯浅町全景



有田鉄道 湯浅駅



大正時代湯浅小学校



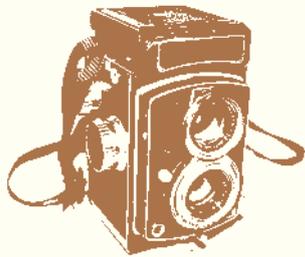
湯浅小学校講堂



有田郡議事堂



室戸台風被害（湯浅の浜）



- 1889年、……
- 明治22年
 - 現在の大字湯浅・別所・青木・山田で湯浅村を編成、現在の大字田・栖原・吉川で田栖川村を編成
 - 明治27年
 - 日清戦争が起こる
 - 明治29年6月
 - 和歌山、田辺、新宮等に次いで、県内でも比較的早く湯浅村が町制を施行
 - 明治37年
 - 日露戦争が起こる
 - 明治44年2月
 - それまで深専寺境内にあった有田郡役所が移転新設
 - 大正4年5月
 - 湯浅海岸駅から金屋口駅まで（6駅）有田鉄道開業
 - 昭和2年8月
 - 国鉄紀勢線紀伊湯浅駅開業
 - 昭和8年5月
 - 私立湯浅幼稚園が開園、当時の園児130名
 - 昭和9年9月
 - 室戸台風来襲、高波による船舶の被害甚大
 - 昭和11年7月
 - 町民待望の湯浅小学校講堂完成 全学童の1銭預金実る
 - 昭和16年
 - 太平洋戦争起こる
 - 昭和20年
 - 終戦
- 1946年、……
- 昭和21年12月
 - 西南海大地震発生、津波による浸水被害が甚大
 - 昭和28年7月
 - 空前の豪雨、広川氾濫により、島之内、仲ヶ原をはじめ町内各所で浸水被害が甚大



埋立て前の湯浅の浜。町民の心の憩いの場であった



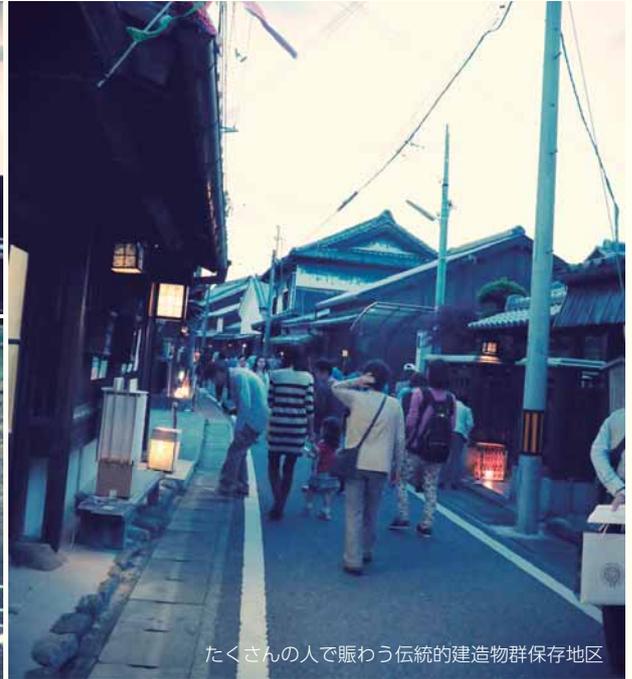
地域福祉センター



湯浅町歴史的風致維持向上計画が国の認定を受ける▶



紀の国わかやま国体



たくさんの人で賑わう伝統的建造物群保存地区

- 1956年、.....
- 昭和31年3月 湯浅町と田栖川村が合併、現在の湯浅町誕生
 - 昭和35年3月 新国道顯國神社の東へ広川町2,200m開通
 - 昭和36年6月 郡役所跡に新庁舎完成、中町の庁舎から移転
 - 昭和39年 東京オリンピック開催
 - 昭和40年 湯浅湾の北浜を埋立てる(7月)
 - 昭和52年4月 学校給食始まる(9月)
 - 昭和59年 南浜埋立て完成、大相撲開催
- 1996年、.....
- 平成8年 地域福祉センター開設(6月)
 - 湯浅中学校屋内運動場竣工(9月)
 - 平成18年12月 醤油醸造の町並みが、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される
 - 平成23年3月 湯浅小、湯浅中学校舎建替え、田村小、田栖川小、山田小の校舎耐震補強
 - 平成26年7月 新田坂トンネル完成
 - 平成27年5月 役場庁舎建替え・移転
 - 平成27年9月 天皇・皇后両陛下御来庁
- 2016年、.....
- 平成28年 湯浅町歴史的風致維持向上計画が国の認定を受ける